

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
IWAD環境福祉 専門学校	平成15年3月25日	平田 富美子	〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14番22号 (電話) 082-254-9000			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 ひらた学園	平成25年3月22日	平田 富美子	〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町14番22号 (電話) 082-254-9000			
目的	人間と自然が共存していく為に「農」の技術と文化を学び、農業の発展のための経営能力を備えた人材を育成。現代の社会的ニーズと農業界の期待に応える能力を養います。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
農業	農業 専門課程	農園芸学科	2年(昼)	2400時間(94単位)		
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		510単位時間	1590単位時間	単位時間	300単位時間	単位時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	9人	5人	9人	14人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について 授業科目の成績評価は、出席状況や授業態度、提出物そして各学期末に行う試験、実習の成果等の状況等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月5日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月15日～3月31日			卒業・進級条件	教育課程の修了は、平素の成績と学年末に試験による認定を行い、本校所定の全教育課程を修了したと認められる場合に卒業認定、進級認定とする。	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 無断欠席の場合、本人並びに保護者に連絡確認し、必要に応じて面談。			課外活動	■課外活動の種類 地域行事や行政行事へのボランティア参加を推進。 ■サークル活動 (有)・無) スポーツ同好会・	
就職先等の状況	■主な就職先、業界 農業法人等企業、食品加工会社、独立就農他 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ※2 95.1%			主な資格・検定	農業技術検定2級・3級 環境再生医 レクリエーションインストラクター 他	
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成26年5月1日在学者 9名(平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 9名(平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家計等経済的な問題や病気療養等 ■中退防止のための取組 定期的に理解度確認の小テスト、担当教員の個別サポート、定期的な個別面談等の実施。 学生の様子(出席状況、授業態度、成績等)を毎週の学科会議で共有、支援策を検討する。					
ホームページ	URL:http://www.iwad.ac.jp					

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）に活かす。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 16 日現在

名 前	所 属
平田 富美子	(学校法人ひらた学園) IWAD 環境福祉専門学校 理事長・学校長
中村 安行	(学校法人ひらた学園) IWAD 環境福祉専門学校 専務理事・事務局長
城田 忠	(学校法人ひらた学園) IWAD 環境福祉専門学校 副校長
有田 隆則	(業界団体役職) 広島県農業法人協会会長 日本野菜育苗協会会長 広島県農林振興センター評議員 (有) 有田園芸農場代表取締役
福嶋 偉人	(業界団体役職) (社) 広島県造園建設業協会会長 日本インドアグリーン協会会長 (株) 有斐園代表取締役会長
篠原 一郎	(業界団体役職) NPO 法人ゆうきびと理事 食と農広島県協議会幹事 広島県自治体問題研究所理事
梶原 澄子	(企業等役職) (社) 可部大文字会 老人福祉施設山まゆ常務理事・施設長 広島市老人福祉施設連盟副会長
保田 和彦	(企業等役職) 医療法人あすか 介護事業部部長・生活リハビリ推進室室長
山村 多賀也	(企業等役職) (株) はな乃祥ドウジエム代表取締役
正本 大	(企業等役職) (社) 日本造園建設業協会広島県支部支部長 広島県緑化センター指定管理者 みずえ緑地 (株) 代表取締役
弥政 慎一	(企業等役職) 社会福祉法人光清学園施設長

(開催日時)

第 1 回 平成 26 年 3 月 25 日 17:00~18:30

第 2 回 平成 26 年 11 月 22 日 17:00~18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ・農業に携わる人材養成のための実習であることの共通理解をする。
- ・可能な限り、農場などの現場で栽培することやチーム作業を行うことを経験させていただくことの承諾。
- ・農業に携わる人材を育成するための指導・助言をしていただくことの依頼。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
職場実習Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産の現場である農場などで、学校で学んだ野菜・果樹・花きなどの基礎知識を応用して栽培することの実践、チームの一員として作業し、自分の役割について理解することや就農するために必要な知識の確認、農業に携わる人材としての心構え、体力的に継続できるかの確認を目的とする。 ・2年間で実習を3回計画実施するが、原則、同一施設及び同一種別への実習とならないように実習先を決定する。 	同一企業ではない。別紙様式3-1を参照
職場実習Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産の現場である農場などで、学校で学んだ野菜・果樹・花きなどの総合的知識を応用して栽培することの実践、チームの一員として作業し、年間の栽培計画を考えた上で、自分の役割果たすよう作業ができることや就農するために必要な知識を確認し、今後の学校生活に活かすこと、農業の基本となる作業を継続できる実践力があるかの確認、進路の方向性を見 	同一企業ではない。別紙様式3-1を参照

定めることを目的とする。

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

農業担い手育成教育機関として、時代の求める農業の発展の為に技能や知識及び経営能力を備えた人材を養成するために研修等を積極的に組み入れて教育への反映を行う。

- ・ 広島県/広島市が開催する農業指導者研修会への参加
- ・ 農協や農業関係機関が開催する研修会への参加
- ・ 本校が開催する講習会等にスタッフとして参加

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 16 日現在

名 前	所 属
渡部 徳代	(卒業生) NPO 法人日本林業文化協会 評議員
石田 良二	(保護者・農業) 広島県農林水産局課長
杉之原 康子	(地域住民) 三晃不動産株式会社 代表取締役
川村 慎二	(介護福祉・園芸療法) 医療法人せのがわ 理事・総務部長
仲田 仁	(園芸療法・こども) 社会福祉法人おりづる 理事長
西山 直樹	(造園・フラワー) 株式会社滴翠造園 代表取締役社長
岡田 雄幸	(農業・自然) 社会福祉法人みどりの町理事 障害者支援施設大和農園施設長

(学校関係者評価結果の公表方法) 学校ホームページに掲載

URL: <http://www.iwad.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法) 学校ホームページに掲載

URL: <http://www.iwad.ac.jp>

授業科目等の概要

(農業専門課程農園芸学科)

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			レクリエーション活動援助法Ⅰ	レクリエーション支援者として必要な理論と技術を学ぶ	1	60	2	△	○	
○			レクリエーション活動援助法Ⅱ	レクリエーション支援者として必要な理論と技術を学ぶ	2			△	○	
○			パソコン演習	データ入力から関数・グラフ・データベース機能等の操作を学ぶ	1	30	1	○		
○			ワークガイダンス講習	ビジネスの基礎や就職試験への対応を学ぶ	1.2	30	2	○		
○			ネイティブ外国語	海外や外国人との交渉手段としての英語能力を学ぶ	2	30	2	○		
○			植物生理生態・分類概論Ⅰ	生物としての植物の特徴や栽培方法を学ぶ	1	30	2	○		

○		植物生理生態・分類概論 II	植物の成り立ち、栽培法、管理法等を総合的に学ぶ	2	30	2	○		
○		栽培学概論 I	草花生産に関する基礎的な栽培知識を学ぶ	1	30	2	○		
○		栽培学概論 II	草花の繁殖技術を総合的に学ぶ	2	30	2	○	△	
○		土壌・肥料・病害虫	土壌・肥料・病害虫の基礎知識を学ぶ	1	30	2	○		
○		生態学概論	人間を中心とした持続可能な生態系を科学的に学ぶ	1	30	2	○		
○		地域福祉論	福祉の視点から地域における生活と支援を学ぶ	2	15	1	○		
○		環境学	人の生活を地球環境との関連から与える影響等を学ぶ	1	30	2	○		
○		自然環境再生論 I	自然環境の保全と復元・再生や関係法令等を学ぶ	1	30	2	○		
○		自然環境再生論 II	自然環境の保全と復元・再生や関係法令等を学ぶ	2	30	2	○		
○		景観整備論	人間の生活空間の中で景観の果たす役割について学ぶ	2	30	2	△	○	
○		農業ベンチャー・ビジネス論	地域資源利用の手法、各種の新商品開発等を学ぶ	2	30	2	○		
○		農業・農村システム概論	農業政策による地域農業のあり方や効果を学ぶ	1	30	2	○		
○		有機農業実践論	土づくり、防虫、病気予防等自然農法について学ぶ	1.2	60	4	○		
○		地産地消政策論	地産地消の正しい方向性と理論を学ぶ	1	30	2	○		
○		農（林）産物マーケティング論	消費者の視点から戦略的・計画的農業を学ぶ	2	30	2	○	△	
○		野菜生産演習 I	野菜の生産と販売に必要な生産技術・流通対応を学ぶ	1	90	3	△	○	
○		野菜生産演習 II	総合的な野菜生産技術と流通対応等を学ぶ	2	90	3	△	○	
○		花き生産演習 I	花卉生産技術である繁殖・開花調整技術等を学ぶ	1	120	4	△	○	
○		花き生産演習 II	物を中心とした花卉生産現場の最新技術等を学ぶ	2	120	4	△	○	
○		果樹生産演習 I	総合的に果樹の生産技術を学ぶ	1	90	3	△	○	
○		果樹生産演習 II	果樹の樹体を繁殖し育成する技術を学ぶ	2	90	3	△	○	
○		有機野菜演習 I	有機農業実践論で学んだ知識を踏まえ、有機農業を体験し知識と技術を習得する	1	180	6	△	○	
○		有機野菜演習 I	有機農業実践論で学んだ知識を踏まえ、有機農業を体験し知識と技術を習得する	2	180	6	△	○	
○		農業商品加工演習	基本的な農産加工理論や技術を学ぶ	2	90	3	△	○	
○		農業基礎・機材演習	農業機械の構造及び操作方法の基本を学ぶ	1	45	1	△	○	
○		フィールド調査 I	自然生態系の観察・調査を通じて環境保全や再生を学ぶ	1	30	1	○	△	
○		キャンプインストラクター	キャンプの初級程度の知識と技術を習得する	2	15	1	△	○	
○		地域連携デザイン実技演習	企業と連携し、広島市や企業主催で開催さ	1.2	120	4		○	

			れる行事に参加し、地域貢献を体験するとともに、職業人としての資質を学ぶ						
○		就農実践演習Ⅰ	就農に必要な技術や心構えを学ぶ	1	30	1	△	○	
○		就農実践演習Ⅱ	就農を想定した総合的技術を学ぶ	2	30	1	△	○	
○		作品制作	地域貢献と企業連携を目的に、地域行事に作品を出展する	1	30	1		○	
○		職場実習Ⅰ	実際の農地で指導を受けながら実践する	1	150	3			○
○		職場実習Ⅱ	就労を想定して総合的実践をする	2	150	3			○
○		卒業研究Ⅱ	テーマを決めて実験をして論文にまとめる	2	45	1		○	
合計				40 科目		2400 単位時間 (94 単位)	